

# ポリクロルナフタリンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年5月27日～7月10日
2. 供試化学物質名 ポリクロルナフタリン
3. 試験方法及び条件 環境庁、厚生省、通商産業省告示(案)による

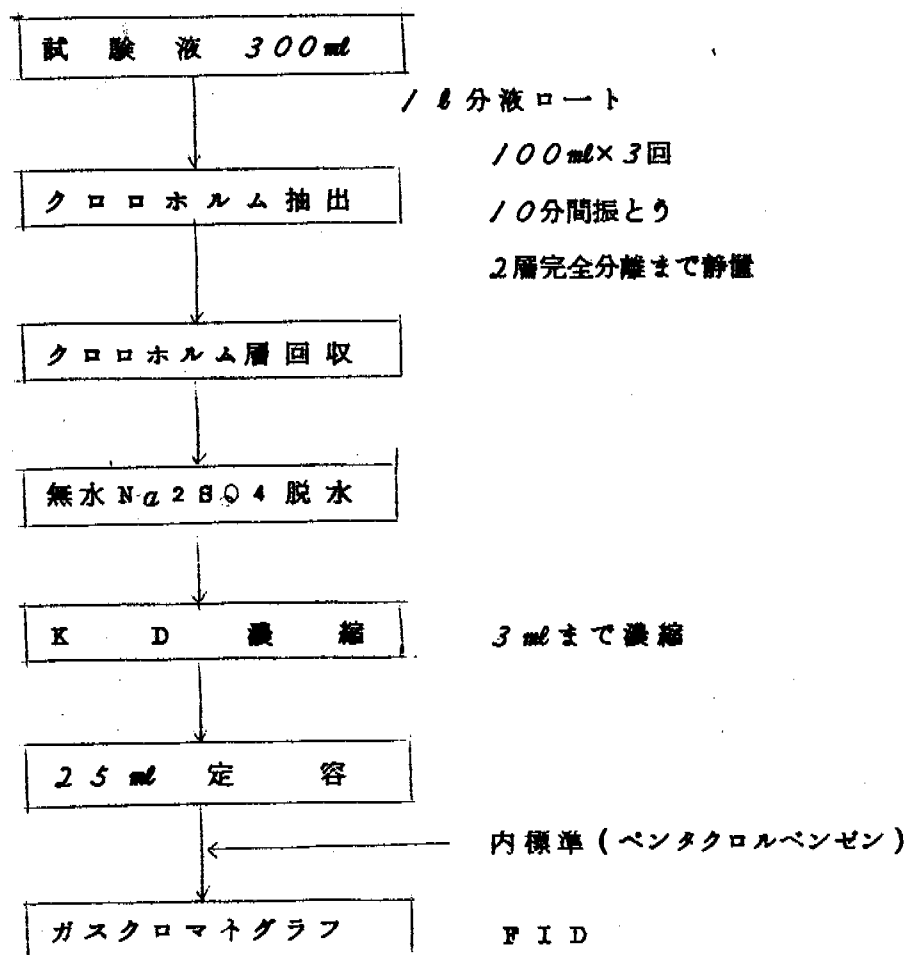
3.1 試験装置 酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定 3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

a) ガスクロマトグラフ 検出器 FID

b) 分析試料の前処理



c) ガスクロマトグラフ分析条件

キャリアガス      N<sub>2</sub>      1.2 %

充てん剤      OV-17      2 %

ガラスカラム      2 mm φ × 3 m

カラム温度      160℃～280℃(10分間保持) 昇温

昇温速度 10℃/min

4. 試験結果

4.1 酸素吸収量

0.0 % (図 - 1)

4.2 直接法による定量

1.3 % (図 - 2 ~ 3)

塩素数が2～7まで(GO質量計の結果による)の範囲にあり  
計算上TODを求めることが不能のため、計算式を示すことは  
不可であるが、酸素吸収量が0のため分解度=0%を得た。

以 上

Da

Te

Mc

Ra

Ch

1

2

3

4

5

6

Nc

Of